松永泰然経歴

1950年		1/10　富士郡柚野村（現在、富士宮市）に出生、4人兄弟の長男
1956年	6才	芝川町立柚野小学校入学　6年生のとき、母の実家・清水の妙蓮寺まで歩く（訳40ｋｍ）　幼い冒険心（？）に火が灯った
1962年	15才	静岡県立富士宮北高校普通科入学　自転車で3～4日の旅行を始める
1968年	18才	大学受験失敗　土方～北海道無銭旅行（牧場で働く）　その後、北陸・山陰・九州を自転車無銭旅行
1969年	19才	建設省建設大学校土木科入学
1971年	21才-23才	同普通科終了　青函トンネルで土方をやって資金を稼ぎ、シベリア鉄道フィンランド・ヘルシンキ行きの片道切符を買う その後、ヨーロッパ、アフリカ、インド方面を無銭旅行（1年6ケ月間）
1973年	23才	産業開発（株）より沖縄開発庁北部ダム事務所に出向、施工管理業務委託 沖縄県国頭郡福知ダム出張所に勤務
1974年	24才	北海道建設工業（株）入社　北海道天塩郡幌延町の出張所に主任技術者として勤務、主として天塩川河川工事に従事 25才で結婚、26才で長男、28才で次男誕生
1979年	29才	ブラジル移住のため同社退社 妻の実家（静岡県富士宮市）に同居させてもらい、土方～電気工事のアルバイトをしながら移住許可を待つ
1981年	31才	ブラジルへ移住、サンパウロ市エレトロプラネット社入社、2年後共同経営者となる 携わった業務は、電話工事、製鉄所への通訳派遣、工場メンテナンス、建築一般、人材派遣コンサルタント、旅行社等
1993年	43才	同社退社　それからの2年間は、独立への準備期間、婦人下着の製造販売を試みるも断念
1995年	45才	（有）サンジェオ建築、設立、代表取締役社長 業務内容は住宅・工場・店舗・会館・神殿等の設計施工、およびリフォームのデザイン・施工
2004年	54才	7/10　弟、事故死　密葬に戻って、帰国を決意　いったんブラジルに戻って、会社を精算する 9月から興徳寺にて僧侶見習い　11/13得度、松永賢一から「泰然」に改名
2005年	55才	2/9　度蝶交付　2/10　叔母死去（施主となる）　2/28　僧道林 7/1　ブラジルに残した妻死去　9/30　父死去　10/27　乙種普通試験（日蓮宗僧侶資格）合格　12/1　信行道場入場考査（実技試験）合格
2006年	56才	5/19　信行道場（日蓮宗僧侶になるための結界修行）終了　6/20　住職辞令 7/1　入寺式　興徳寺54世住職に就任、現在に至る 「NPO法人YUNOどんぐりの会」会長　大型人形芝居「劇団うふふ」顧問